

1. 内外政

- ・16日、レアンカ首相は、パリを訪問し、オランダ仏大統領と会談。オランダ仏大統領は、モルドバとEUの連合協定の署名後も、モルドバの欧州路線を支持する旨発言。
- ・16日、コパチ経済省次官は、ウクライナへのガス供給の停止問題の影響をモルドバが受けていない旨発言。
- ・16日、「沿ドニエストル共和国関税委員会」は、4、5月の貿易に関する統計を発表。同数値から、「沿ドニエストル共和国」が主張していたウクライナとモルドバによる経済封鎖は、偽情報であったことが判明。
- ・16日、ガガウズ自治区コムラトにて、連合協定署名への抗議運動に数百人が参加。
- ・17日、カルポフ再統合問題担当副首相は、セコム世銀モルドバ担当地域局長と会談、沿ドニエストル問題の現状につき議論。
- ・20日、レドウカン地域発展・建設相は、モルドバ訪問中のミューラー独経済協力・発展相と会談、モルドバの地域発展への財政支援の可能性につき議論。

・20日、レアンカ首相は、モルドバの欧州統合は主権を強め、さらにオーストリアやスイスをモデルに、中立の立場を強化する可能性がある旨発言。

・20日、連立与党各党首は、ウクライナ最高会議による沿ドニエストル地域に通ずる国境検問所を閉鎖する決定に同意しない旨発表。

2. 経済

・16日、世銀は2014年のGDP成長率を3.0%、2015年及び2016年のGDP成長率をそれぞれ3.8%及び4.5%と予測。

・18日、経済省は、DCFTAの実施を支援するためのプロジェクトに関するドナー調整会合において、モルドバのビジネス環境及び投資環境を改善するために、USAIDは2016年までに300万ユーロ以上を提供、EUは2014年の第4四半期から2017年にかけて、このDCFTAの条項を実施するために3,000万ユーロを支援することを決定した旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)